

「ちょっとちょうだいね」より「ちょっとあげるね」。

カッコいい女性は「ちょっとちょうだいね」という言葉は、あまり口にしません。

おいしそうなお菓子や付箋が必要になったときには「ちょっとちょうだい」といいます。

しかし、それより、次の言葉をよく耳にします。

「ちょっとあげるね」という一言です。

私の同僚に、Tさんというカッコいい女性がいます。

彼女はいつも「ちょっとあげる」が口癖です。

Tさんはいつもガムや^{あめだま}飴玉を持っていますが「これ、1ついる？」と私に差し出してくれます。

わざわざ話しかけてくれたのだから「いらない」とも言いづらい。

「これおいしいよ。ちょっとあげる」と言って、お菓子をおすそ分けしてくれます。

こちらから、お願いしなくても、相手から気遣ってもらえると、嬉しくなります。

そんな気遣いができるところが、カッコいいなと感じます。

「ちょっとあげるね」が口癖になると、自然とカッコよくなります。

相手へのケアがうまくなり、自然にコミュニケーションのきっかけにもなります。

「ちょっとちょうだいね」では、お世話になっているということです。

受け身の姿勢なのです。

それに対して「ちょっとあげる」は、お世話をするということです。

積極的に相手にケアを働きかける姿勢になっています。



ささいな言葉と行動の違いですが、受け身となるか、自分から進んでいくかの大きな違いとなるのです。

もらってばかりではなく、自分からあげることができる人になりましょう。

カッコいい女性は、いつも誰かに、何かを、あげているのです。

カッコいい女になる方法 その26

「ちょっとあげるね」と言って、プレゼントする。